

難治頻回部分発作重積型急性脳炎に対するデキサメサゾン髄腔内投与の安全性と有効性に関する検討

1. 研究の対象

2011年4月から2021年3月に当院で難治頻回部分発作重積型急性脳炎に対するデキサメサゾン髄腔内投与を受けられた方

2. 研究目的・方法

難治頻回部分発作重積型急性脳炎は、発熱と反復するけいれんで急性発症し、けいれん抑制に麻酔薬の投与が必要で、難治な部分てんかんに移行する脳炎です。一般的な治療を実施しても十分な効果が得られない重症例が存在します。その場合、脳炎の治療の強化するために、脳脊髄炎に適応のあるリン酸デキサメサゾン(デカドロン®)の髄腔内投与を実施しています。日常診療で得られた検査値などを用いて、本治療の安全性と有効性を評価します。研究期間は臨床研究倫理委員会承認後から2021年3月31日となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療でカルテ記載された内容を検討します。具体的には、治療前後での発作の変化や治療期間内の副作用の発生状況等が該当します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221(代表)

研究責任者:小児神経内科 氏名 九鬼一郎